

ウルトラマンバスで行く!石巻青果市場見学ツアー2025



小野地域ふれあい交流館「ひだまりの里」の地域交流事業として、7月25日（金）に「ウルトラマンバスで行く!石巻青果市場見学ツアー2025」を開催し、大人7人子ども7人計14人が参加しました。

○小野地域ふれあい交流館「ひだまりの里」について

小野地域ふれあい交流館「ひだまりの里」は、地方創生交付金事業（小さな拠点づくり）を活用し、地場産品の直売機能と地域住民や各種団体との交流の場となるサロン機能を有した施設として、平成30年11月に開所した施設です。隣接する小野市民センターの大規模改修工事に伴い、令和4年度は休館となっておりますが、令和5年9月から運営を再開しました。地域生産物の地産地消、食育の推進、地域内のにぎわい創出等、地域資源を活かした地域密着型の交流拠点として運営しています。

月に1回程度、地域交流事業として農業体験やワークショップなどを開催しています。今年度は「いちごスフレパンケーキ教室」や「タケノコ収穫体験」などを開催しており、今後「クリスマスリース作り教室」などを開催予定です。



いちごスフレパンケーキ教室



タケノコ収穫体験



クリスマスリース作り教室

○「ウルトラマンバスで行く!石巻青果市場見学ツアー2025」について

石巻青果市場見学ツアーは昨年も同様に開催しており、今年で2回目の開催となります。石巻青果市場での集合・解散も可としていますが、今回は参加者全員、ひだまりの里発着のウルトラマンバスに乗車しての参加となりました。

石巻青果市場の職員さんに各売場や保管庫の説明をしてもらいながら、市場内を見学しました。



ここは常温売場です。デコボコがなくツルツルした床にすることでほこりがたまりにくく、掃除がしやすいように工夫されています。

ここには常温で保管できる商品が広い売り場にたくさん並んでいます。

これは常温売場で保管されていたメロンです。
みんなが知っているあのキャラクターのシールが貼ってあります 🐱



次に見学したのは低温売場です。ここは名前のとおり、低温で保管する商品が並んでいます。広い売場全体が一定の温度に管理されていて、参加者のみなさんは「涼しい〜!」と笑顔でした。

たくさんの野菜や果物が並ぶ中、商品を運搬・積み下ろしするフォークリフトが何台も走っていました。あまり広くない通路でもスムーズにすばやく動き回るフォークリフトにみなさん感動していました。



最後に見学したのはバナナ熟成庫です。実は、バナナはまだ熟していない緑色の状態で海外から日本に入ってきます。緑色のバナナをこの倉庫で熟成させることで、甘くて黄色いバナナになり、その後出荷されます。

みなさんが購入しているバナナが、このような過程を経て、お店に並んでいることを知っていましたか？ ☆

市場見学後は、事務所内に移動してスイカを試食させていただきました。いただいたスイカは甘くてみずみずしく、何個もおかわりしてしまうくらいとっても美味しかったです。

スイカを食べながら、石巻青果の職員さんがスイカの生育について詳しく教えてくれました。今食べているスイカがどのように作られているのか、興味津々でお話を聞いていました。東松島市で生産されている作物についてもお話いただき、そのお話を聞いて、参加者のみなさんは地元の食材により興味を持ったようでした。



見学後、小野地域ふれあい交流館「ひだまりの里」に立ち寄った参加者のみなさんは、見学ツアーでお話があったからか、商品として並んでいる野菜の産地を確認する様子も見られました。今回も、子どもも大人も楽しく学べる良い見学ツアーになったのではないかと感じています。

小野地域ふれあい交流館「ひだまりの里」では、今後も多くの方が楽しめる地域交流事業を企画・開催していきますので、ぜひご参加ください！